

美術 I 学習指導案

令和6年 11月7日(木) 第5校時  
 高円芸術高等学校普通科 1年3組 20名  
 高等養護学校高円分教室 2年 17名  
 指導者 北村 詩穂  
 使用教科書 美術 I / 光村図書

- 1 題材名 コマ撮りアニメーションをつくろう!
- 2 内容のまとめり 映像メディア表現「A表現」(3)、[共通事項]  
 作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」、[共通事項]

3 題材について

(1) 生徒について

本校普通科の1年生、高円分教室2年生は共に創作活動に積極的な生徒が多い。協調性があり学校の壁を超えて打ち解けている。生徒にとって身近であるデジタル機器を使った作品制作を紹介することで、表現の幅を広げるとともに、創作活動をより身近なものと感じてほしい。また制作で協力し合ったり、お互いの作品を鑑賞したりすることで刺激し合い、今後の制作の引き出しを増やしてほしい。

(2) 題材について

1学期はコラージュ作品を通して画面の構成について学んだ。2学期の前半では色彩が感情に及ぼす影響について学んだ。この課題ではアニメーションならではの動きの自由さを生かし、形体や色彩、動き、構成などについて考え、作品を制作する。その中でこれまでに学習した構成や色彩の知識を生かし、造形の要素の働きや全体のイメージや作風などで捉えることを理解しながら、表現の意図を効果的に表したい。

(3) 指導について

BYOD 機器の充電は欠かさないように伝える。コマ撮りアニメーションの多様な表現方法を伝えるため、アニメーション、「ニヤッキ!」などの子供の頃に親しんでいる映像を見せる。撮影の前に肖像権や著作権について説明し、他者の権利に配慮して作品を制作するように伝える。

4 指導の目標

(1) (知識及び技能)

- ・意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表す。A(3)-イ
- ・形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。[共通事項]

(2) (思考力・判断力・表現力等)

- ・色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練る。A(3)-ア
- ・映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。B(1)-ア

(3) (学びに向かう力・人間性等)

- ・コマ撮りアニメーションでどのような表現ができるのか学び、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。
- ・創造活動の喜びを味わい主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 色光や視点、画面構成や動きなどのアニメーション表現の特性や造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p><b>技</b> 意図に応じて撮影方法やアニメーションの表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。</p>	<p><b>発</b> アニメーション表現の特性を生かした主題を生成し、映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p><b>鑑</b> 造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p><b>態表</b> 主体的にアニメーション表現の特性を学び、そこから感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に取り組もうとしている。</p> <p><b>態鑑</b> 主体的にアニメーション作品の特性や表現効果などを感じ取り、作者の制作意図や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。</p>

6 準備物

生徒:教科書、筆記用具、ファイル、BYOD 機器  
 教員:教科書、授業用パソコン、電子黒板、参考作品、授業用プリント

7 指導と評価の計画(全4時間)

●学習のねらい・学習活動	知・技	思	態	評価方法・留意点等
<p>1. アニメーションの作品の鑑賞(1時間)</p> <p>●アニメーションについて理解を深める。</p> <p>・NHK 高校講座 美術 第16回「マンガとアニメーション」を鑑賞し、作品から感じ取ったことや、作品の主題と表現の関係や意図と工夫などについて考える。</p> <p>●造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることについて理解する。</p> <p>・作品の主題と表現の関係や意図と工夫などから、表現における形体や色彩、材料、動き、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。</p>	<p><b>知</b></p> <p>↓</p>	<p><b>鑑</b></p> <p>↓</p>	<p><b>態鑑</b></p> <p>↓</p>	<p><b>鑑 態鑑</b> アニメーションの造形的なよさや美しさを感じ取ったり、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたりすることができているかどうか、学習活動に取り組む態度を見取る。できていない生徒に対して、主題の内容から作品を見つめさせたり、作者の心情について考えさせたりするなどの指導を行う。</p> <p>【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p> <p><b>知</b> 鑑賞の学習活動を通して、主題と表現の関係や意図と表現の工夫などから、造形の要素の働きや、全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているかを見取る。理解していない生徒に対して、形体や色彩の部分や作品全体、それぞれの作家の作風などに着目させて理解できるようにするなどの指導を行う。</p> <p>【発言の内容、ワークシート】</p>
<p>2. 発想や構想(1時間)</p> <p>●主題を生成する。</p> <p>・ワークシートを埋めながら考える。</p>		<p><b>発</b></p> <p>↓</p>	<p><b>態表</b></p> <p>↓</p>	<p><b>発 態表</b> 主題が生成できていない生徒には自分のことや周囲の現象から、興味を惹かれることを振り返らせたりするなどの指導を行う。</p> <p>【ワークシート、活動の様子】</p> <p><b>態表</b> 主題の生成について意欲的に取り組めていない生徒には自分のことや周囲の現象から、興味を惹かれることを振り返らせたりするなどの指導を行う。【ワークシート、活動の様子】</p>